

3 地域との関わり

	活動・取組等の名称	詳細内容
自治会・町内会との関わり	・利用推進会議 ・事業協力	横浜市・(公財)日本野鳥の会・友の会の三者協働の会議への上郷東連合町会長の出席依頼・情報交換、30周年記念事業への出席依頼・連携協力
学校との関わり	・体験学習プログラム協力等	自然観察センターの実施する体験学習プログラムや教職員社会体験プログラムへの協力など
他の市民団体との関わり	・ネットワーク活動	いるか丘陵ネットワーク、NPO 小網代野外活動調整会議、円海山緑地ネットワークへの参画など
企業等との関わり	・CSR 事業協力	自然観察センターの実施する企業 CSR 活動受け入れへの協力
行政との関わり	・利用推進会議 ・森づくり団体登録 ・ネットワーク活動(機関・施設関連)	・横浜市(環境創造局みどりアップ推進課)・(公財)日本野鳥の会・友の会の三者協働の会議への参画など ・研修参加、活動拠点「ごろすけ館」の利用協定など ・スプリングフェア、金沢まつりいきいきフェスタ、栄区民まつりへの出展、公共施設展示スペース等の有効活用
その他、環境以外の分野との関わり		

4 団体の発足経緯／活動を始めたきっかけ、動機

※ 立ち上げた主体、どのようにして活動に携わる人が増えてきたのか等も合わせ、具体的に記入してください。

※ 個人の方は、活動を始めたきっかけについて記入してください。

施設計画当初から友の会構想もあり、施設の趣旨を理解し積極的にかかわろうとする市民により開園2年後の88年10月に友の会が設立、初年度107名登録、6年目に最大439人、様々な運営検討を経て最近10年は140人前後で推移。

5 今までの活動

活動の目標・ねらいに対する成果

◆中期事業計画(2016-19)に基づく重点項目として、①情報発信(「ごろすけ館」活用、30周年関連)、②保全管理計画を活かす(懇談会参画、各PJ活動等)を掲げ、展示・来園者案内・ブログ等による情報発信や多数の行事实施による「人」へのサポート、プロジェクト活動を中心とした調査・保全作業等により生きものの多様な環境を守り育てる活動を広げる「自然へのサポート」が持続的に実施されています。

生物多様性に関する取組(生物多様性特別賞の選考の参考とします)

◆保全管理計画の先行モデル

基本計画段階・開園当初から生態系の保全・利用の視点で環境管理・調査が行われ、05年にはレンジャーと友の会が協力して保全管理計画を策定、13年に横浜市が計画書をまとめています。「生きもののにぎわいのある森」(生物多様性の保全された森)をめざす全体目標が設定され、ゾーニングや順応的管理、モニタリングなどを実施。近年、アライグマ対策なども効果をあげています。

6 今後の活動方針

※次年度以降の目標や、活動継続のためにどう引き継いでいくのかも含めて具体的に記入してください。

■長期目標（2010-19）

自然の中で、人と生き物のステキな「出会い」「発見」「関わり」をサポートします。

知恵と力を出し合って、

- ・多くの人に楽しみを伝えて、自然を愛する仲間を増やします（人へのサポート）
- ・生き物の多様な環境を守り育てる活動を広げます（自然へのサポート）

■中期事業計画（2016-19）

①情報発信を充実させます。（「ごろすけ館」活用、30周年関連事業など）

②保全管理計画を活かします。

（30周年を機に会員アンケート調査などを実施。現在、次期中長期目標策定に向け準備中です）

7 審査にあたり、最も注目してもらいたい取組、PRポイント

※最も注目してもらいたい／評価してもらいたい取組や、これまでの項目に当てはまらないPRポイントについて具体的に記入してください。

今年度は友の会設立30周年の節目にあたります。20周年の時にみんなで様々な声を集め、意見を出し合って作り上げた現行の長期目標と、その第3期目となる中期事業計画の総仕上げの時期となります。

特に、重点項目として情報発信には力を入れてきたことから、ここで受賞することにより、より一層の発信力向上を期するものであります。

都市の自然は地球とつながる貴重な窓。災害など有事に自然の力を思い知ることが多い昨今、平時から窓に磨きをかけ、平穏な日常の一コマやライフスタイルの中で、楽しく有意義な人と自然との関係を、築いていけたらと思っています。

是非とも、次の10年へ向けたよい励みとなるよう、また、より多くの方に、最大の政令市である横浜市と、日本最大の自然保護NGOである（公財）日本野鳥の会と、地域ボランティア組織である友の会の三者が協働して運営する自然保護活動の拠点を体感していただけるよう、PR協力のほどよろしくお願い致します。

前回受賞からの発展内容

前回（第1回・1993年）は友の会設立5周年の時でした。あれから四半世紀。

変化が激しく不安定な時代にあって、自然を相手にする活動は、100年・1000年の単位を視野に入れた様々な取組を、一人一人、日々着実に進めていかねばなりません。

横浜自然観察の森や友の会が変わらずに存在し続けること自体が、わが国の自然保護活動にとって非常に重要な意味を持つと確信しています。

そのような中であっても、しかし着実に進化を遂げていることを、振り返ってみれば思い知る事となります。

1例として、友の会の活動の主力である「プロジェクト活動」の変遷が挙げられます。

現在のプロジェクト構成は次のとおりです。

カワセミファンクラブ: 鳥・昆虫撮影、写真展、調査
PJ-STRIX: フクロウの調査・保護活動
雑木林ファンクラブ: 雑木林の保全、木工、炭焼き
畑プロジェクト: 生きもののにぎわう畑づくり
森の案内人ハンミョウの会: ガイド、案内人講座
鳥のくらし発見隊: バードウォッチング定期開催
森の絵本づくりの会: 絵本制作と読み聞かせ
自然と遊ぼう: 自然と親しむ行事の定期開催
野草の調査と保護: 植物調査、希少種保護作業
定点カメラで動物調査: 自動撮影カメラ哺乳類調査

プロジェクトの数自体は、25年前もほぼ同数ですが、当時のまま存続しているのは2件、他の8つはこの間に新設されたプロジェクトです。

友の会の目的にもあるとおり、「親しむ」タイプの活動から、「守り育てる」タイプの活動（主に調査系・保全作業系）やインタープリテーション（「伝える」手法）を深化させた「自然を愛する人を育てる」タイプの活動まで、幅広く分布し、これらが相互に刺激し合いながら、全体として着実に守備範囲を広げてきたことがよくわかります。その結果が、大変多くの活動回数・人数につながっているものと考えます。

また、保全管理計画の策定から運用までボランティアが深くかかわっている点も特筆すべき事項です。この実績がモデルとなって、市内各地の保全管理計画にも影響を与えました。

外来種の急激な拡大や異常気象の影響など、戦わなければならない要素は増大する一方、人や資金などの資源は限られています。様々な工夫と、何より、フィールドや活動の魅力の発見・伝達によって、多くの市民の参加機会を創出してきたことは、この間の大きな発展内容の1つと言えるでしょう。

◆つたえる活動(環境教育)



プロジェクト「自然と遊ぼう」
イベントで湿地の生きいきもの観察をしている様子



プロジェクト「森の案内人・ハンミョウの会」
観察会“季節の森を歩こう”の様子



プロジェクト「鳥のくらし発見隊」
イベント“みんなでバードウォッチング”の様子



プロジェクト「定点カメラで動物調査」
イベントで森の生きものチェックをしている様子



プロジェクト「森の絵本の会」
これまで作成してきたオリジナル手作り絵本の数々



プロジェクト「カワセミファンクラブ」
この森で撮影した野鳥たちの生態写真などを定期的に写真展などで発表している

◆ととのえる活動(環境管理)



プロジェクト「雑木林ファンクラブ」
企業の CSR 活動の支援で外来樹木の伐倒指導をしている様子



プロジェクト「畑プロジェクト」
参加者と一緒に生きもののための畑を管理している様子

◆しらべる活動(環境調査)



プロジェクト「野草の調査と保護」
草木本の調査を行っている様子



「森のカエル調査隊」
ヤマアカガエルの卵塊調査を行っている様子

◆守る活動



プロジェクト「PJ-STRIX」
フクロウの巣箱の利用状況を調べている様子



自然観察センター主導の特定外来生物アライグマの捕獲事業に友の会有志の会員が協力している

◆プロジェクトによらない様々な活動



友の会設立30周年記念講演会では会場が一杯になるほどの参加があった



毎年、安全管理講習会を開催し、専門家を講師に招いている。2018年度は栄消防署の方にお話しいただいた



隔月で理事会、定例会を開催。会の運営などを検討する



友の会の将来ビジョンを考えるワークショップを開催した

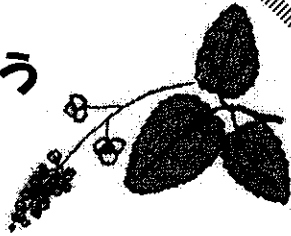


定例行事のご案内

第1日曜日

季節の森を歩こう

- ① 11時～12時
- ② 13時～14時

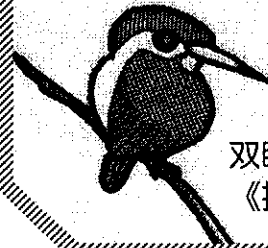


ガイドウォークによる自然観察
《担当：ハンミョウの会》

第2日曜日

みんなでバードウォッチング

9時～13時



森の野鳥の観察会
双眼鏡・図鑑の貸し出しあり
《担当：鳥のくらし発見隊》

第3水曜日（8月休み、3月第4水曜）

森の絵本を楽しもう

10時半～12時



読み聞かせ、簡単ミニ絵本づくり
《担当：森の絵本づくりの会》

第4土曜日（12月は第2土曜日）

自然と遊ぼう

- ① 13時～14時
- ② 14時～15時



自然を素材にしたネーチャーゲーム
《担当：自然と遊ぼう》

第3土曜日（8月はお休み）

畑と作物を作ろう

10時～12時



畑作業を通して自然と親しむ
《担当：畑プロジェクト》

第2土曜日（6月～11月）

定点カメラで動物調査

11時～12時
何が写っているか、
写真をチェック！



雨天の場合、観察センターに確認ください
《担当：定点カメラで動物調査グループ》

【申し込み】 6つの行事とも申し込みは必要ありません。時間までに観察センター前にお集まりください。
参加料は無料です。10名以上の団体はあらかじめ観察センターにご連絡ください。
小学生以下の方は、保護者同伴でご参加ください。

【持ち物・服装】 飲み物・帽子・汚れてもよい服装（「みんなでバードウォッチング」は昼食も）

【お問い合わせ】 横浜自然観察の森 自然観察センター TEL 045-894-7474

（月曜休館・祝日の場合は翌日）

<http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

【アクセス】 JR大船駅または京浜急行金沢八景駅から神奈中バスで「横浜霊園前」下車 徒歩7分

※上郷森の家（TEL.045-895-5151）の駐車場が利用できます。（有料100台）駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



2018 横浜自然観察の森友の会 イベント案内（申し込み制）

- ① 5/19（土） 森の作業体験～炭焼き体験 9時～14時
9時までに観察の森・炭小屋集合 小学生以上30名
申し込み 4/9～5/11までに（先着順）
担当：雑木林ファンクラブ
- ② 9/15（土） 森の作業体験～雑木林の手入れ（間伐）体験 10時～14時
9時までに観察の森・炭小屋集合 小学生以上30名
申し込み8/6～9/7までに（先着順）
担当：雑木林ファンクラブ



- ③ 10/21（日）友の会30周年記念行事
詳しくは友の会ホームページをご覧ください。

2019年

- ④ 2/24（日）初めてのバードウォッチング～初心者のためのバードウォッチング講座
9時15分～14時30分
小学校4年生以上～大人 30名 双眼鏡の貸し出しあり 雨天実施
申し込み1/11～2/18までに（先着順） 担当：鳥のくらし発見隊
- ⑤ 3/24（日）はじめてのちいさなしぜんかんさつ会 小雨決行
午前の部 10時30分～12時 午後の部 13時30分～15時
※午前・午後同じ内容です
荒天で中止の場合は3月31日（日）に延期
3歳～小学校2年生までと保護者 各回20名まで（希望者多数の場合は抽選）
申し込み締め切り 3/3までに



※小学生までのお子さんは、保護者同伴でご参加ください。

申し込み ①イベント名と月日 ②参加者全員の氏名・年齢（生徒・児童は学年）③代表者の連絡先
（メールアドレス、電話番号）④このイベントをどこで知ったか を書いて
Eメール kansatsunomori@gmail.com または FAX 045-894-8892 でお申し込みください。
くわしくは友の会H、Pの行事予定、ブログ「森のでできごと」をごらんください。
当日朝7時の時点で、横浜市内に気象や災害に関する警報、特別警報が発令されている場合は、行事は
中止します。
問い合わせ 横浜自然観察の森 045-894-7474（月曜日休館）



横浜自然観察の森友の会 補足資料

30th Anniversary

横浜自然観察の森友の会

設立30周年記念講演会

横浜自然観察の森友の会は、自然観察の森の市民ボランティア団体として、30年にわたりこの森の生きもののにぎわいを育む活動を続けてきました。

この記念講演では、横浜自然観察の森と周辺の地形や地質のなりたちと、それがどのように植物相を中心とした生きもののくらしを支えているのかを学び、これからの活動に活かしていきたいと考えています。

◆記念講演

「円海山緑地成立にかかわる自然史」

町田 洋氏（日本第四紀学会 元会長、東京都立大学 名誉教授）

「植物相から見た三浦半島」

大森 雄治氏（元横須賀市自然・人文博物館 学芸員）

◆日時：2018年10月21日（日）9:30～12:30（受付開始 9:10）

◆会場：横浜自然観察の森 自然観察センター 横浜市栄区上郷町1562-1

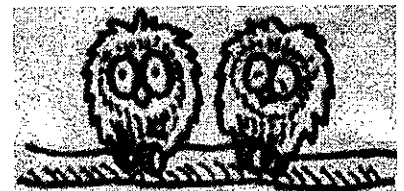
◆募集数：50名（応募多数の場合抽選）

◆参加費：無料

◆申込み方法・問い合わせは裏面を参照ください

下記ホームページもご確認ください

http://www.geocities.jp/yms_tomo/



港南台方面から自然観察の森方面を臨む<画像加工しています>



- 主催：横浜自然観察の森友の会（ボランティアグループ）
- 共催：横浜自然観察の森

はじめての

ちいさなしぜんかんさつ会

春、いろんないきものたちが動きだします。いきものたちとの出会いを親子でいっしょに楽しみましょう。ほんもののおたまじゃくし・ほんものスミレにふれ、ほんもの自然にかこまれて、こどもたちが感じたことに耳をかたむけてみませんか。

日時：2019年3月24日（日）小雨決行
（大雨の場合は、翌週3月31日（日））
午前の部：10:30-12:00、午後の部：13:30-15:00
（2回とも同じコースです）

場所：横浜自然観察の森

対象：3才～小学校2年生までと保護者 40名

（午前・午後20名ずつ、希望者多数の場合は抽選）

申込：3月2日までに、メールかFAXで「はじめてのちいさなしぜんかんさつ会」担当宛に、①行事名、②参加者全員のお名前と人数、③お子さんの年齢、④午前か午後か、⑤連絡先の電話番号とメールアドレス（またはFAX番号）をお知らせ下さい。3月10日までにご連絡いたします。

メール：kansatsunomori@gmail.com FAX：045-894-8892

問合せ：上記メールアドレスまたはFAXへ。

主催：横浜自然観察の森友の会「はじめてのちいさなしぜんかんさつ会」担当

HP http://www.geocities.jp/yms_tomo/

ブログ http://blog.livedoor.jp/yms_tomo/

身近な自然の案内人講座

身近な自然の素材を使って、生きものたちの生態や習性を分かりやすく伝える自然案内人講座。そのスキルとプログラムの開発から実践まで、2日間コースです。

講師は横浜自然観察の森友の会の自然案内人講座のインストラクター、インシニョウの会メンバーが担当します。

- 1日目：自然のメッセージを受けとる多様な視点に気づく。
- 2日目：自然のメッセージを分かりやすく伝える。

●開催日時

2018年11月3日（土）の2日間コース
両日共9時30分～16時

●開催場所 横浜自然観察の森（横浜）

●費用 1000円（2日間おむすび）

※横浜自然観察の森友の会会員は500円となります。

●定員 先着30名

●申込方法 10月31日までにメールでお申込みください。

●主催 横浜自然観察の森友の会

●お問い合わせ kansatsunomori@gmail.com

機関誌発行

みなさんのご意見や
おたよりなども
おまちしてます!

もり 森の情報満載! ★
じょうほう まんさい
横浜自然観察の森友の会会報
ゴロスケ報々
年6回発行(偶数月)

へん しゅう
編集

会員みなさんに
行事や活動予定などお知らせする
会報編集作業をやっていただける方、
パソコンができる方、
文章を書くのが好きな方、
イラストを描くのが好きな方、
とにかく何かやってみようという方、
etc...是非ご参加ください

お問い合わせは、事

